

災害に備えた地域での支え合い研修会 ～障がいのある方などの避難支援を考えよう～

災害時における障がいのある方の避難支援に関する理解を深め、参考となる町内会・自治会等の取組を多くの方に知ってもらうとともに、平成 28 年度より開始した「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業（札幌市委託事業）」を広く周知することを目的に研修会を実施しており、今回で 5 回目の開催となります（コロナウイルス感染拡大により、令和 2～4 年は未実施）。

平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震など、近年、日本各地では未曾有の災害が頻発し、皆様の地域でも備え、対策の重要性を強く感じておられることと思います。

この研修会が少しでも地域の安全を守る一助となることを願って、ご案内をお届けいたしますので、どうぞ奮ってご参加ください。

1 主催

- ・さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール
（「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」
（札幌市委託事業）実施事業者）
- ・札幌市



2 定員

500 名

3 開催日 令和 5 年（2023 年）10 月 2 日（月）13 時 00 分から 15 時 30 分

4 開催場所 カナモトホール 大ホール（札幌市中央区北 1 条西 1 丁目）

5 内容（案） *時間・内容変更の可能性あり

12:30 開場

13:00~13:10 開会・挨拶

13:10~14:10 基調講演「災害に強い地域づくりへの取組みと連携」

講師 同志社大学 社会学部 教授 立木 茂雄 氏

14:10~14:25 休憩

14:25~14:35 行政説明

・「札幌市における避難支援の取組みについて」（保健福祉局）

14:35~15:20 実践報告 「防災を通して考えるご近所付き合い」

・個別避難計画の作成に関わった障がい当事者や関係者による報告
進行：一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二 氏

① 避難支援の必要性～要配慮者ご本人の視点から

② 避難支援の取組み～町内会として平時から出来ること

③ 総評（立木教授）

15:20~15:30 まとめ、アンケート記入

15:30 閉会

→裏面に続きます。

6 対象者

要配慮者避難支援や地域防災・見守り活動に取り組んでいる又は取り組む予定の町内会・自治会、地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）等の関係者、民生委員・児童委員、福祉事業者、福祉関係団体、避難支援に興味のある市民等

7 その他

(1) 申込方法・締切日

- * 別紙「参加申込書」にて、さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オールまでファクシミリまたは電子メールにてお申し込みください。
- * 締切日は**令和5年（2023年）9月1日（金）**です。

(2) 参加費 無料

(3) 問い合わせ先

- ・さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール〈担当：高村^{たかむら}・赤杉^{あかさぎ}〉
電話：011-213-0171 ファクシミリ：011-213-0172
電子メール：sapporo@one-all.net

<基調講演講師>

立木 茂雄（たつき しげお）氏

1955年（昭和30年）兵庫県生まれ。

1978年関西（かんせい）学院大学社会学部卒。同社会学研究科修士課程修了後、1980年よりカナダ政府給費留学生としてトロント大学大学院に留学。MSW（マスター・オブ・

ソーシャルワーク）ならびに Ph.D.(ドクター・オブ・フィロソフィー)修得。1986年より関西学院大学社会学部専任講師・助教授・教授を経て2001年4月より、現職（同志社大学社会学部教授）。

専門は福祉防災学・家族研究・市民社会論。とくに大災害からの長期的な生活復興過程の解明や、災害時の要配慮者支援のあり方など、社会現象としての災害に対する防災学を研究。

北海道とのご縁では、令和4年11月に、音更町避難行動要支援者対象避難訓練のアドバイザーを務められている。

